

WIL 第 11 期 募集要領

令和 8 年 4 月
経済産業省
経済社会政策室

経済社会政策室では、企業経営を担う女性リーダー人材の育成を目的として、女性リーダー育成研修「Women's Initiative for Leadership (通称WIL^{ウィル})」を実施しております。

本研修につきまして、WIL 第 11 期参加企業の募集を行います。応募のあった企業の中から、合計 50 社程度を選定します。応募の概要は以下のとおりとします。

1. 募集概要

(1) 目的

将来の経営幹部候補である女性幹部社員の人材育成

- 企業経営を担う女性リーダー人材の育成
- 経済産業省の施策や政策形成のプロセスを理解し、業界全体や日本の経済成長等、自社に止まらない一段上の視点から、特定のテーマについて検討することで、経営者に必要な視座を獲得する一助とする。
- 参加者同士や講師との交流を通じて、支援し合えるネットワークを構築し、今後のキャリアにおいても活用できる人脈を広げる。

(2) 募集人数

以下の①と②を併せて 30 名程度、③は 20 名程度とし、全体で 50 名程度（1 社につき 1 名）を予定。

- ① 地方経済産業局推薦企業の者
- ② 令和 3 年度から令和 7 年度までのいずれかの年において、なでしこ銘柄の調査票に回答した企業の者
- ③ ①②に該当しない企業の者

(3) 募集対象企業

- ・ 以下の募集要件を全て満たす企業

要件 1 :

上場企業であること

要件 2 :

女性の活躍推進が、自社の企業経営における重要な戦略として位置づけられ、女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を定め、公表するとともに、具体的な取組を行っていること

要件 3 :

原則として全ての勉強会及びグループ別研究活動に受講生を対面で参加させることができること

要件4：

受講生の派遣にあたり、派遣元企業において以下を実施すること

- A) 企業としての本研修への申し込み理由や、受講生の推薦理由について、受講生本人への説明と研修参加への動機付けを実施
- B) 受講生の業務との兼ね合いやプログラム終了後のキャリアに関するフォローの実施
- C) 参加決定後に提出する登録書に記載する「推薦責任者（原則役員レベル）」の成果報告会への出席（可能な限り）

要件5：

経済産業省 HP において事業の実施内容等を公表する際に、企業名や受講生の参加の様子等の写真の公表が可能であること。なお、経済産業省において、企業名と受講生個人を紐付けるような公表の仕方は避けることとする。

要件6：

経済産業省が WIL の事務局を委託する事業者（事業者未定）に対し、企業名、受講生氏名、連絡先等といった応募内容を共有することが可能であること。

(4) 募集対象者

所属企業が経営幹部候補として推薦する女性社員（原則、部長級・管理職相当）で、WIL 第 11 期全プログラム（以下 2. 実施概要参照）に対面で参加していただける方
※なお、本プログラム終了後は、過去の WIL 受講生によって構成される WIL アルumni に任意で加入いただく予定です。（活動内容等は最終回でご案内予定）

(5) 応募方法

別添 2 の参加申込書に必要事項を記載し、経産省 WIL 事務局までメールにて提出下さい。

経産省 WIL 事務局メールアドレス：bzl-WIL@meti.go.jp

(6) 応募締め切り

2026 年 5 月 8 日（金）17:00 【締切厳守】

(7) 参加費

無料

※勉強会やグループ別政策研究参加に伴う交通費、通信費並びに諸費用は各自負担。

(8) 選定方法

応募数が定員を超過する場合には、女性活躍の取組の裾野拡大を図る観点から、以下の優先順位により選定させていただきます。

- ① 過去3年間（第8期～第10期）に参加実績のない企業で、かつ、地方経済産業局ブロックごとに、各地域1社程度を目安に優先する。
- ② 過去3年間（第8期～第10期）に参加実績のない企業を優先する。
- ③ 抽選で決定する。

(9) その他

応募結果につきましては、5月下旬をめぐりに、『参加申込書に記載いただいたご連絡先（人事担当責任者・人事担当者）』にメールにてご連絡いたします。参加が決定した企業につきましては、参加決定のご連絡から2週間程度で受講生（個人）の登録をお願いする予定です。その際、「推薦責任者名（原則役員レベル）」「企業として本研修への派遣を通して、幹部候補生である受講生のどういった点を伸ばし、育成していきたいと考えているか」「受講生本人が本研修への参加を通じて経営幹部候補としてどのような視座やリーダーシップを獲得したいか」等のお考えについてご記入いただく予定です。その点も踏まえてご応募ください。

2. 実施概要

(1) 開催期間

2026年7月24日（金）午後 から 2026年12月（予定）

第1回勉強会：7月24日（金）午後

第2回勉強会：9月上旬（調整中）

第3回勉強会：10月上旬（調整中）

第4回勉強会：11月上旬（調整中）

成果報告会・修了式：12月上旬（調整中）

※各回半日程度、合計5回程度開催予定です。

※原則、金曜日午後の開催を予定していますが、講師の都合により変更させていただく場合もございますので、詳細につきましては都度事務局からご連絡します。

(2) 研修内容

- ① 政府関係者等を講師に招いた勉強会（3時間程度）

経営層に求められる幅広い知見を深め、視座を高めていただくため、経済産業省における施策立案や考え方や、女性のエンパワーメントとリーダーシップに関する講義・ディスカッションを実施予定です。

また、参加登録時に提出いただいた「受講生本人が本研修への参加を通じて経営幹部候補としてどのような視座やリーダーシップを獲得したいか」という目標に対して、毎回の勉強会の内容を踏まえて学んだことや目標達成状況について、事務局から配布する簡易的なフォローアップシート（予定）を活用しながらのアウトプット・振り返り、その内容について他受講生との共有等の機会を設ける予定です。

② グループ別政策研究（経済社会課題に関する政策提言の策定）（1時間程度）

グループ毎に興味のあるテーマを決めていただき、グループにて政策研究を実施、研修終了時に政策提言を発表いただきます。

勉強会当日以外にも、グループ別に自主的にディスカッションやヒアリング等の活動を行っていただくケースが多いです。

(3) 研修の開催形式

会議室での集合形式で実施します（状況によっては全面オンラインでの開催もあり得ますが、オンラインと対面のハイブリッドでの開催は予定しておりません）。対面参加の場合は、原則、都内会議室、経済産業省内会議室で開催します。オンラインの場合はMicrosoft Teams を利用予定です。

(問合せ先)

経済産業省 経済産業政策局 経済社会政策室

担当：小迫、上里、遠藤

TEL：03-3501-1511（内線 2131）

MAIL：bzl-WIL@meti.go.jp

(附表)

WIL の過去5年分のテーマ一覧

期	テーマ名
10	GREEN CHOICE 総選挙 ～サーキュラーエコノミーを楽しく学んで未来を変える！～
	ジャパントオリティで拓く、次世代スマート介護施設 一支える人も支えられる人も、充実した介護とともに快適に
	Supply Chain 国民参加で“都市から資源を掘り起こす！” レアアース循環への挑戦
	共生力で拓く“選ばれる日本” 地方創生・成長産業連携型 人材循環の実現
	イノベーションを加速し、日本を動かす！-人が動き、企業が変わり、未来が進む- ～ソーシャルインパクトDOJO(ドウジョウ)×人材バンクで創る国家的イノベーション～
9	やったもの負けから、やったもの勝ちのGXへ！～アジアから発信するカーボンニュートラル（CN）の実現～
	イノベーション創出に資するスタートアップエコシステムの構築 Everyday Startup！～挑戦する日本へ～
	ミドルの力で日本を元気に！ ～ミドル層の躍進を通じた持続的な日本経済の成長～
	地域と産業を未来へつなぐなでしこ経営プロジェクト 地域の包摂的成長に資する中堅・中小企業・小規模事業者の発展
	<国際秩序の再構築と日本経済> 日本発 I・YA・SHIでより良い国際社会の実現へ
8	炭素中立型社会の実現 ～個人の脱炭素行動を促進する支援策・しかけに関する政策研究～
	デジタル社会の実現 ～国家PayPayを活用した 給付・還付の一元化と迅速化～
	ちょこっとでも活躍できるプラットフォーム ちょこ活で WellBeingな社会の実現へ
	人口減少克服に向けた地方の包摂的成長 ～女性、若者を地方へ～
	「点」から「円」へ ニッポン協力隊とグローバルマインドセット教育から広がる日本の真のグローバル
7	データ利活用に関する官民の連携 ～新たな価値創出・ビジネスチャンスの拡大のために～
	新しい価値観 おとなのWakuWakuで実現するwell-beingな社会
	脱炭素社会の実現に向けた家庭部門の脱炭素推進 ～住宅の高性能化、生活者の行動変容をめざす取り組み～
	日本の経済成長に繋がるイノベーションを興すための提言
	人的資本経営 - 複業のすすめ-
	日本を強くする！人材の活性化×流動化 ～人材が縦横無尽にチャレンジする日本へ～
6	働き方改革 X.0 ～コロナによる変化とDX化～
	『新しい価値観』人生100年時代において、『新たな幸福観』を互いに肯定し合える事ができる社会とは？ 企業、地域・行政、個人の連携の在り方を研究・提言
	地方創生～eスポーツの多様性を最大限に活かした地方創生～
	地球温暖化対策 ～CO ₂ 削減～
	貧困の世代間連鎖を断ち切るための子供の教育